



横田

2013年、まだ「心記想伝」が「お葬儀かわら版」であった時の、8号～先月発行の99号までがファイルに綴られ机の前の本棚にある。8号はフルカラー印刷であり「心記想伝」になったのは17号からであった。月に一度の定期便である。いつしか毎月20日を待っている。この間、様々なことが起こり、私達の生活は変わり、それに伴って葬儀も大きく変化してきたように思える。

国難ともいえるコロナウィルス感染症の蔓延は、日常に激変をもたらす混乱と不安を漂わせている。この状況の中においても新たな生命の誕生と終焉があり、私たちの生命の営みは日々続けられている。「心記想伝」は、その終焉に関わる私たちの在り様を問い続けてきたのではないだろうか。「私たちは、有限な生命（いのち）をもやし人生を完成させ、個々の生命が次世代に何かを残し連続化していく」と言われている。葬儀は当に「有限な生命の連続」への契機ではないだろうか。葬儀の様式形式は時代と共に変わってゆくものだろう。しかし、そこには変わらぬ不変的な何かが残っているのではないだろうか。「心記想伝」がその流れを感じさせてくれる内容へと充実してくれますようにと、100号を前に思うことしきりである。

四万十市 団塊の世代

つい2年前までは、思い立ったが吉日と思えば団塊の世代様のお宅へと出向き、心に記した想いを時間の経過も忘れる程に熱く伝えてもらっていました。そのお陰で原点回帰をすることができ、新たな気持ちで仕事に向き合うことも出来ました。ここ最近では直接お話をすることもありませんでしたが、心記想伝100号発刊を前に、この先も私達が忘れてはいけないメッセージを手書きの文章でお送りいただき、心より感謝を申し上げます。

あらためてとなりますが、このコロナ渦においてわかってきた事、そして不変的である事は人の終焉・葬儀式は次なる時代を生きる世代への橋渡し、生きてきた足跡を継承していく、家族共有の大切な時間であるべきだという事を知らされたような気がします。約1年半前に大切なお母様を亡くされ、死亡時の対面や葬儀をあげる事すらできなかつたと、子供様がメディアを通して仰っていました。「未だに母が亡くなったという実感もなく、送るべき時にしてあげたかった事もできず、心にぽっかりと穴が空いたままです。」言葉では語りつくせぬ事もありますが、この先も大切な人を送ることの節目は、必ず心の中に残しておくべき貴重な人生の1ページとして刻まれるものであってほしいと思っております。



横田

いつもご愛読ありがとうございます。  
心記想伝かわら版・100号を迎えました！



2012年4月創刊、手探りではじまった心記想伝かわら版。新聞折り込みとはいえ手に取って読んでくれる人がいるのだろうか、日常業務と並行して続けていく事ができるのだろうか…。不安ばかりが頭をよぎっていたのを思い出します。

かわら版の第一号にはクイズプレゼントコーナーがあり、クイズの答えを記入したハガキが届いた時のあの嬉しさは忘れられません。翌月にはさらに多くのハガキが寄せられ、その片隅には『楽しく読ませていただきました』と添えられていました。

きっと続けていくことができる。つたない文章でも頑張っつづくっていこう。スタッフの不安もやわらぎ、前向きになれたあのハガキには感謝しかありません。また、より良い紙面づくりの為にアドバイスをくださる皆様、本当にありがとうございます。

ちょっと笑えて、ちょっと勉強できる…をコンセプトに、150号・200号と続けていけるように、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。今後とも心記想伝かわら版を宜しくお願い致します。



**法事法要も承ります**

一、会館法要なら手間いらず  
ご自宅のお掃除・後片付けが不要

二、必要品は全て対応します  
返礼品・お供え・お料理など

三、ご高齢の方にも安心  
すべて館内で移動もスムーズです

四、大きな駐車場を完備  
大人数でも駐車場に困りません

各種回忌法要が行えます



**ちょっとだけ勉強のコーナー**  
～現代に伝わるお葬式のしきたり～

宗派によりますが、一膳飯または枕飯という物があります。茶碗にご飯を盛ってお箸を立てます。「他の人には分けない」「この世とあの世の箸渡し」等の説があり、故人の冥土への旅路のお弁当という意味があります。また自宅を出棺する際に茶碗を割ります。こちらにも諸説ありますが「故人が食事をできないようにし現世への未練を断つ」という意味があります。

また、浄土真宗では亡くなってすぐに極楽浄土に行くという考えがあるので、枕飯や茶碗を割ったりする必要はないとされています。それから霊柩車が出棺する際にクラクションを鳴らす意味についても諸説あり、一般的な意味は参列者が合掌や一礼で故人を見送るのに併せて故人を弔うという考えや「道中の邪を払う」「出棺を知らせる合図」それと「実は特に意味がない」という説もあるそうです。



高野

**備えて安心!!**  
**ドリーマー会員制度**  
(互助会積立金)

葬儀で基本的に必要な部分を前もって積み立てておく事でいざという時の費用面の負担や不安が少し解消され、心の安心につながると思っています。ちょっと聞いてみたい・・・という方は、いつでもご連絡ご相談ください。



佐竹

**お悩みやお困り事はドリーマーへお気軽にご相談ください!!**

葬儀や法要など仏事について分からない事や、遺品整理や費用の事など、何でもお気軽に私たちにご相談下さい。またドリーマーホームページも新しくなり、多くの情報を発信しております。ぜひご覧ください。



山本



横山



高齢者に優しい1階建て総合葬祭館。家族葬専用会場併設、法事・法要に対応。

## ドリーマー中村葬祭館

- 事前相談 ○館内見学
- 会員内容 ○無料見積
- 葬儀保険についてなど

### かわら版・100号記念プレゼントのコーナー

過去に多くの応募ハガキ・応援ハガキがドリーマー中村葬祭館に寄せられました。その総数は優に1000通以上！今回はその中で応募総数20通越えの、**四万十市のS様・黒潮町のY様!!**お二人にはドリーマーファン殿堂入りといたしまして記念品をお贈りします。まことに勝手ながら殿堂入りとなりましたことお許しくさませ。(笑) 今後も未永くドリーマーのかわら版をどうぞ宜しくお願いいたします。



兵頭

100号を迎えたかわら版。感慨深いものがあります。ここしばらくはコロナの影響があり、会員様ふくめお客様との時間がなかなかとれない状況にあります。会員イベントや中村葬祭館独自の女性イベントなど楽しみにしていただいている方も多いと思いますが、もう少しの間お待ちください。皆様と会える日を楽しみに頑張っていきたいと思っております。



山本